

年明けまで十数社で数百人の人員整理計画 党上越地区委員会がハローワーク上越幹部と懇談

日本全国で不況の嵐が吹き荒れています。上越地区内でも(株)新潟精密ほか数社の合理化、人員整理計画が報道されるなど深刻な事態が広がっています。

こうしたなかで、10日、日本共産党上越地区委員会の橋本正幸農民部長、伊藤誠副委員長が、ハローワーク上越を訪問し、実態調査と懇談をおこないました。

懇談の中でハローワーク所長は、「製造業関係は4〜5割の受注減、11月末から年明けまで十数社で数百人の人員整理の計画もある」と厳しい実態を明らかにしました。また、正社員やアルバイト等の直接雇用の場合、5人以上の雇用変動がある会社は報告する義務があり、ハローワークが状況を把握できるが、派遣労働の場合はその報告義務がなく、労働者の相談がない限り状況を把握できず、有効な手立てを取りきれない問題点があることも出されました。

橋本正幸農民部長が「(今日のような事態になったのは)99年の労働派遣法改悪で、製造業への自由化が進んだのが原因。日本共産党はそれ以前に戻せと要求しています」と話すと、所長などから、「原点にもどる必要がある」「思い切って派遣労働をなくすべき」「若者の就職を支援する『若者しごと館』をもっと気軽に立ち寄れる場所にするなど、若者支援でがんばってほしい」など共感と期待の言葉が寄せられました。

市の増資、文経委員会で可決

(株)よしかわ杜氏の郷への1億2200万円の

増資を含んだ一般会計補正予算が8日、文教経済常任委員会で審議され、採決の結果、賛成多数で可決しました。賛成は創風クラブ、公明党など7人、反対は無所属の永島議員のみでした。党議員団の上野議員と市政クラブの2議員、合わせて3人が退場・棄権しました。本会議での採決は18日に行われます。

この日の委員会、3者協議での新たな展開が報告されるかどうか、注目しました。しかし、期待した新たな報告はほんのちよっぴりもなく、残念ながら、議論もあまり深まりませんでした。委員会での議論は役員体制、地域協議会との関係に関するものがほとんどでした。このうち何人かの議員が会社の新役員体制についてふれ、「新役員の顔が見えない」「市として(社長をどうするかなど)どういう提案をしていく予定なのか」などと質問、踏み込んだ答弁を求めましたが、答弁は3日の総括質疑のレベルの域をほとんど出ないものでした。

これまでよりも一歩踏み込んだ答弁かなと思えたのは、民間からの役員、吉川区からの役員選出に関してぐらいなものです。澤海産業観光



代石地内

部長はそれぞれについて、「酒の業界というよりは杜氏の郷のいまの販売ルート、いまの支配人とも協調しながら売上を伸ばしていきたい人材」「区民の方

日本共産党議員団のアンケート ト開封・集計作業を公開!

日本共産党上越市議団が取り組んでいる、(株)よしかわ杜氏の郷問題についての緊急アンケートは大きな関心が寄せられています。

この開封・集計作業を15日(月)に行います。作業は公開します。集計作業はパソコンとプロジェクターを使い、途中経過もごらんいただけるようにしたいと考えています。皆さんのご参加をお願いします。

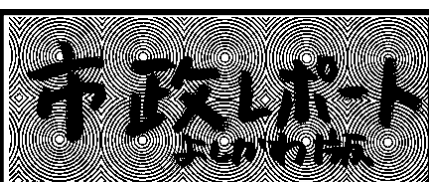
時間：議会終了後。午後7時からの予定。
議場から議員団4人が吉川に向かいます。
場所：吉川コミュニティプラザ3階大会議室

から認知していただける方はだれか、ファンクラブや地域協議会などの方から意見を聴いている」とのべました。あとは、「最終的な調整をしているところ。もう少しの時間をいただきたい」との繰り返しでした。この言葉は、これまでの委員会でも何回も使われてきた言葉です。先月18日の委員会では、3者協議で合意ができれば文書で残したいと部長はのべていましたが、12日の時点でも、まだ報告はありません。これでいいのでしょうか。

党議員団の上野議員は、この日の答弁では(株)よしかわ杜氏の郷を安心して存続させられる担保がない、また区民アンケート(15日開封、集計)で世論の確認ができていないなかで賛否は決められないとして採決時、棄権しました。



【寒菊】寒さに耐え、花を咲かせ続ける姿はいいですね。高沢入地内で撮影。



NO 1375
2008.12.14

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一
TEL 548-3628 (有線) 4867
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/